

令和3年度「全国学力・学習状況調査」

調査結果の概要及び今後の取組について

みなべ町教育委員会

令和3年5月27日に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要及び今後の取り組みについて、お知らせいたします。

この調査は、小学6年生と中学3年生を対象とし、「教科に関する調査」について小学校は国語・算数、中学校は国語・数学を実施し、児童生徒の学習意欲や学習環境等を調査する「質問紙調査」も併せて実施いたしました。

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的とし、実施したものです。

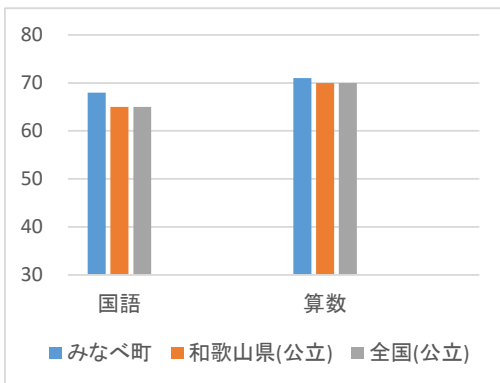
本教育委員会では、町内小中学校全体の調査結果の概要と今後の取組について広く町民の皆様にお知らせし、子どもたちの学力向上・学習環境の改善に向けて、学校・保護者・地域が一体となった取組を進めてまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

1 教科に関する調査結果について

(1)平均正答率(%)

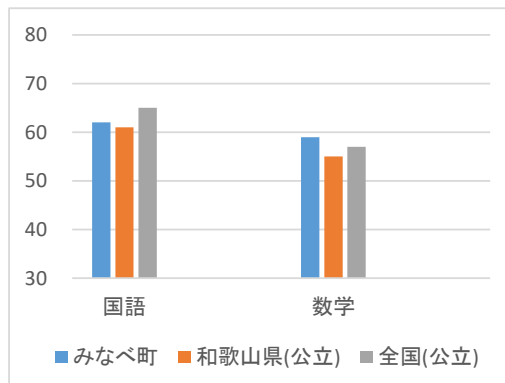
小学校 第6学年

	国語	算数
みなべ町	68	71
和歌山県(公立)	65	70
全国(公立)	65	70



中学校 第3学年

	国語	数学
みなべ町	62	59
和歌山県(公立)	61	55
全国(公立)	65	57



小学校平均正答率は、国語、算数とも全国より高く、国語においては 2007年の本調査開始以降、全国との平均との差が一番大きく上回りました。

また、中学校平均正答率においては、数学については全国より高い結果でしたが、例年課題がある国語については全国との差が大きく下回り課題が残る結果となりました。

(2)各教科の学習指導要領の領域別平均正答率

学年	小学校6年生	中学校3年生
教科	国語	国語
学習指導要領の領域	国語	国語
話すこと・聞くこと	▽	▽
書くこと	◎	-
読むこと	-	▼
小：言葉の特徴や使い方に関する事項 中：伝統的な言語文化に関する事項	◎	-
教科	算数	数学
学習指導要領の領域	算数	数学
数と計算/数と式	-	○
図形	-	-
測定・変化と関係/関数	-	-
データの活用/資料の活用	-	-

<p>国語</p> <p>小学校では、書くことの領域で9ポイント、言葉の特徴や使い方の領域で6ポイント以上全国より高く、書くことを大切にした授業の成果が出ています。</p> <p>中学校では、読むことの領域が5ポイント低く、話すこと・聞くことの領域では小・中学校とも3ポイント低い結果となりました。</p>
<p>算数・数学</p> <p>小学校は、各領域において全国と同程度の結果となりました。</p> <p>中学校では、数と式の領域で4ポイント高くなりましたがその他の領域は同程度となり、例年の結果よりは課題が残りました。</p>

※ 小学校の領域名/中学校の領域名

- ◎：全国平均に比べ5ポイント以上高い
○：全国平均に比べ3～5ポイント高い
▼：全国平均に比べ5ポイント以上低い
▽：全国平均に比べ3～5ポイント低い
-：全国平均との差が3ポイント未満

(3)教科の概要

小学校

国語

- ◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことがよくできています。
- ◇目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することがよくできています。
- ◆目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることに課題がみられます。

算数

- ◇道のりと時間の関係について考察することがよくできています。
- ◆2つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することに課題があります。
- ◆帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴やその割合について記述することに課題がみられます。

今後の取組について

- ・文章中に用いられる図表やグラフなどと文章との関係を明らかにし、必要な情報を見つけられるよう指導します。
- ・算数の各領域において学習した内容を具体的な場面に対応させ、図や式を関連付け解き方や考え方を表現出来るよう指導します。
- ・文章を正しく読み取り、目的や意図に応じた自分の考えを書いたり、表現したりする機会を設け、思考力・表現力の育成に努めます。

中学校

国語

- ◇書かれた文章について、構成の工夫を考え、問題の意図に則して考えを表すことはよくできています。
- ◆文脈の中における語句の意味を理解することに課題があります。
- ◆場面の展開、登場人物の心情や言動に注意して読み、内容を理解することに課題がみられます。

数学

- ◇文字式の四則計算や一元一次方程式の立式がよくできています。
- ◇目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりし事柄をが成り立つ理由を説明することができています。
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。
- ◆相対度数の必要性と意味を理解することに課題があります。

今後の取組について

- ・話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて考えをまとめたり、深めたりできるように指導していきます。
- ・文章の内容を理解したり、自分の考えを形成したりする力を身につけるために、意図的・計画的な指導を行います。
- ・問題解決のために、表・式・グラフなどをどのように用いればよいか考えを出し合う場面を設定し、数学的に説明する活動を充実していきます。

2 質問紙の調査結果について (全国に対して5%以上差があり課題となる部分に▲)

(全国と比べ特徴的な結果の出ている質問について紹介します。)

(1)「授業はよく分かりますか」

「そう思う、どちらかといえばそう思う」を合わせると、中学校の国語以外は、小学校・中学校とも概ね全国より高くなっています。中学校の国語の授業改善に努めてまいります。

よく分かる		みなべ町			全国			差異				
		小学校	国語	算数	中学校	国語	数学	小学校	国語	算数	中学校	国語
	小学校	国語	87	84	3							
	小学校	算数	86	84	2							
	中学校	国語	70	80	▲10							
	中学校	数学	76	75	1							

(単位:%)

(2)「普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしていますか」

平日のテレビゲームの時間は、小学校では全国と比べて1時間未満の割合が多く、中学校では1~3時間の割合が高い結果になりました。しかし小・中学校とも平日に3時間以上ゲームをしている割合が約30%もあり、深刻な問題といえます。

ゲ 平 日 の テ レ ビ 遊 び	時間	小学校			中学校		
		みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
	3時間以上	27	29	2	31	32	1
	1~3時間	40	47	7	55	48	▲7
	1時間未満	33	24	9	14	20	▲6

(単位:%)

(3)「平日授業以外でどのくらい勉強しますか／平日授業以外でどのくらい読書しますか」

平日において、「1時間以上」勉強する児童・生徒は小学校は全国より高く、中学校では全国より5%低いです。平日「勉強しない」児童生徒はコロナ禍よりも2%増加しています。

平日の読書については、小学校では各学校での本の貸し出し冊数は年々増加傾向にはありますが、中学校に上がるにつれ、読書をしないう割合が増加しています。中学校においては、小学生で高まった読書への興味が持続できるよう、蔵書の見直しなども進め生徒が本を身近に感じられる取り組みを進めていきます。

平日の学習	時間	小学校			中学校		
		みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
	1時間以上	65	63	2	71	76	▲5
	1時間未満	33	34	1	27	21	▲6
	しない	2	3	1	2	3	1
平日の読書	1時間以上	11	18	▲7	18	14	4
	1時間未満	65	58	▲7	47	48	1
	しない	24	24	0	35	38	3

(単位:%)

(4)「前学年までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか／学校で、コンピュータなどのICTを使って他の友達と意見交換をしたり、調べたりするために、どの程度使用していますか」

学校で、コンピュータなどのICTを使って他の友達と意見交換をしたり、調べたりすることが全国平均よりも頻度が低いです。今後、各学校で指導法や教材の工夫にICTを利活用した授業改善に努めていきます。

		小学校			中学校		
		みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
前学年使用まで	時間						
	週1回以上	51	40	11	24	33	▲ 9
	週1回未満	49	60	11	76	67	▲ 9
換意見等の使用	週1回以上	18	39	▲ 21	14	35	▲ 21
	週1回未満	82	61	▲ 21	86	65	▲ 21

(単位:%)

(5)新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間、勉強について不安を感じましたか／規則正しい生活を送っていましたか」

「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」を合わせると、不安を感じた割合が全国より低く、ご家庭・地域の方の支えもあり比較的安心できていたことが窺えます。規則正しい生活では、小学校は全国より多かったものの、中学校では規則正しい生活がおくれている生徒が半数以上いる事が分かります。

不安を感じた	みなべ町			全国			差異		
	小学校	中学校		小学校	中学校		小学校	中学校	
不安を感じた	41	52		55	63		14	11	
規則正しい生活を送っていた	74	42		63	48		11	▲ 6	

(単位:%)

みなべ町の学力状況は、今年度中学校の国語以外は、全国平均より高い正答率でした。

国語力はすべての教科の基礎となる部分であり、国語科だけでなく全教科において内容の読み取りや話し合い活動の実施など意図的・継続的に指導を重ねていくよう努めます。

また、今年度から配備されたGIGA端末の効果的な活用についても研修を進めると共に、引き続き基礎学力の充実と、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組めます。

コロナ禍においても、出来る限り協同した学習活動に取り組み、子ども達が自分の良さや相手の良さを大切にし、様々な場面で得た経験を生かし、将来なりたい自分の姿に向かって成長できる学校づくりを進めてまいります。